

人と企業、求職と採用をつなぐ—

びんご経済レポート

2019
8 | 1
No.2065
(本体価格 556円)
600yen



社会福祉法人アンダンテ
理事長

池田 正則氏

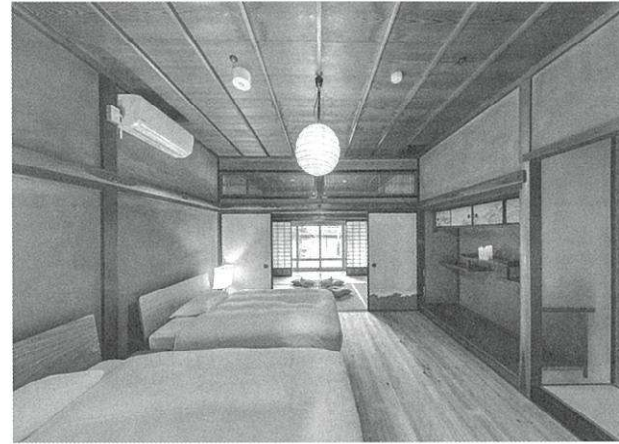
この【人】に聞く

就労と社会参加の促進を目指し
「障がい者」の就労支援に尽力

PICK UP

三井住友銀行尾道支店が旧支店駐車場へ建て替え移転
東部工業技術センターへ摩擦攪拌接合装置導入が決定
三好眼科が「レンティスコンフォート」県内初導入
やまみがハウス食品と資本業務提携

おかげさまで
57
周年



NIPPONIA HOTEL 竹原製塩町

8月1日グランドオープン

浜旦那の気分味わえる宿

竹原市の町並み保存地区に、築100年以上の古民家3棟を高級ホテルに改装した「NIPPONIA HOTEL 竹原製塩町」(竹原市中央3-16-33)が、

8㎡、261㎡。客室は10室で定員は36人。同ホテルのテーマは「塩と酒で浜旦那ぐらしをなぞる旅」。3棟とも明治・大正期の木造建築で、往時は旅館や造り酒屋、娯楽施設として使われても、宿泊客は製塩業で財を成した浜旦那の気分が味わえる。宿泊費は、夕食と朝食が付いて1泊1人2万8千円から。夕食は竹原のブランド和牛「峠下牛」を使用した会席料理、朝食は御膳を提供する。

今後は竹原・大崎上島エリアの魅力を開発・発信し、交流人口の増加と地域経済の活性化を目的として「観光を通じたまちづくり」を実施する予定。同ホテルは竹原市が2017年6月に

締結した「歴史的資源を活用した地域活性化のための取り組みに関する連携協定」の下、(株)Rippe (同市中央4-5-11、佐渡泰社長)がJR西日本やバリューマネジメント(株)(大阪府大阪市)と連携を取りながら開発。少子化が進み、空き家増加の課題を持つ同市の町並みの保存継承、地域経済活性化を目的に行われた。

Rippeは竹原市で増加する空き家の利活用と観光まちづくりを目的として、まちづくり会社・いいね竹原(株)の取締役3人と(株)NOTEの合同出資によ

て設立。設立に当たっては、農水省の農山漁村振興交付金を活用した。

ホテルの運営を行うバリューマネジメント(株)は歴史的建造物の利活用事業を行っているっており、「Japan Venture Awards2016」[日本文化再生特別賞]も受賞。同社のNIPPONIAブランドは、兵庫県丹波篠山市を起点に、全国9地域に展開。2020年までに15地域への展開を目指している。

問い合わせTel0120・210・286 NIPPONIA HOTEL 竹原製塩町

おのみち海の駅に約100人 ボート見学やクルージング 海岸散策中の観光客らが楽しむ

おのみち海の駅活性化委員会(山田幸一会長)と(株)ホンダカーズ尾道会長)は海の日の7月15日、尾道中央ビジターバス(おのみち海の駅)でボート見学会を開催した。

優雅な木造船ヨットと船体が3胴構造のトリマランヨットを棧橋に係留、来場者が自由に船内に入って見学した。また山田会長の豪華クルーザー(13人乗り)を使って見学者を尾道水道のミニクルーズに無料で招待。30分ごとに11回のクルーズを行い、約100人の見学者が尾道水道クルーズを楽しんだ。事前の天気予報と変わって晴天に恵



見学会のトリマランヨットと左隣に木造船ヨット

まれ、兵庫県や島根県、福岡県など遠方から尾道を訪れた人も多く、たまたま海岸通りを散策していた家族連れや若い参加者がほとんど。クルージングを楽しんだ女性参加者の一人は「参加でき運がよかったです。尾道は気軽に海を楽しめる環境があつて素敵です」と感想を話していた。

見学会は同活性化委員会のメンバー約20人がボランティアで運営。今回は富永嘉文尾道市副市長もスタッフとして参加した。